

■忍耐の訓練（4/5）

私たちは主にまさる者ではない。それゆえ、主がモーセのようにご自分の家族から不親切なきびしい非難をお受けになったのなら、私たちも同様であろう。親しい人たちから非難されるとき、あなたを助けるために十字架にかかれたあわれみ深い方により頼みなさい！

モーセは、斥候としてカナンの地を偵察してきたリーダーたちが、恐れゆえに混乱や非難を引き起こしたときにも、じっとこらえていた（民数13：26-33）。この斥候たちは、約束の地を目の当たりに見た。そこはまことに乳と蜜の流れている地であった（27節）。実によい地であったが、どのようにしても侵入できないほどそこに住む人々が強そうに見えたので、十人の斥候は、「探って来た地について、イスラエル人に悪く言いふらして言った」（32節）。カレブとヨシュアが異議を申し立てたにもかかわらず、イスラエルの人々は「その夜、泣き明かした。……モーセとアロンにつぶやき、……互いに言った。『さあ、私たちは、ひとりのかしらを立ててエジプトに帰ろう』」（14：1、2、4）。

指導者たる者は、このように人々が混乱し非難しているとき、忍耐の訓練を受ける。ルドヤード・キップリングは人間性を深く洞察し、すべての人に訴える不朽の詩を書いた。

[も し]

もし周囲の人がみな度を失って あなたを非難しても
落ち着きを失うことがないなら
もしみんなの者があなたを疑っても
自分に確信を持ち 人の疑いを思いやることができるなら
もしあなたが待つことができ 待ちくたびれることがないなら
もし偽りを言われても 偽り返さないなら
もし憎まれても 憎みをもって返さないなら
そして善人ぶったり りこうぶったりしないなら

もし夢を持っても その夢に振り回されないなら
もしよい思いが浮かんでも それを最後の目標としないなら
もし勝利を得ても 敗北をなめても
勝利に酔わず 敗北にくじけないなら
勝利と敗北のふたりの詐欺師を同じように扱えるなら
もしあなたの語った真理のことばが 無頼の徒によって
愚か者をとらえるわなとしてゆがめられるのを聞いても
耐えることができるなら
もし心血を注いだものが破壊されるのを見て
腰をかがめてそれを拾い 古い道具で再建するなら

もし大群衆に語る説教者になっても 節操を失わないなら
もし王とともに歩いても 庶民の心を失わないなら
もし敵も愛する友も あなたの心を傷つけることができないなら
もしすべての人があなたにとって重要な人であり
しかもあまりに重要すぎるということがないなら
—すべての人を尊敬しても、神を第一として、人を第一としないなら
もしどんなことでも ほんの六十秒も待たずに許せるなら
地はあなたのもの そこにあるすべてのものもあなたのもの

—私の子よ もうあなたは一人前だ